

平成 19 年 6 月 10 日

大川石材ニュース 庵治ストーンフェア 2007

「Creation 創造」石の新たな可能性と美しさの発見を求めて

墓石灯籠出品 彫刻及び石灯籠部門 最優秀賞 受賞



〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼2775番地13
電話(087)845-9640 E-mail info@ookawasekizai.com
FAX (087)845-7510 http://www.ookawasekizai.com

平成 19 年 6 月 9 日(土)～10 日(日)にサンメッセ香川で庵治ストーンフェアが行われました。大川石材では、テーマ「Creation 創造」石の新たな可能性美しさの発見にあった、製品を出品いたしました。

大川石材は、庵治石のよさを伝える生放送「ふるさと一番」で放送されたように、「最高の素材に負けないように、日々最高の石材加工技術を目指し」ており、「加工技術」の中に、「石の新たな可能性と美しさの発見を求め」ることとし、「巧みの技」を最大限発揮できる「小叩き(こたたき)」を用いた、日本人にあう「灯籠」を出品しました。

小叩き(こたたき)とは、石の表面仕上げの一種。刃をつけたつち(石工の専門道具)で表面をこまかく叩き、これを数回くり返す仕上げであり、人手による仕上げとなり、それが出来る職人も少なくなっています。

大川石材では「技能士の資格取得」「技能五輪への参加」(平成18年度 銀賞受賞)など職人を育て、「大切な人のお墓や、日本の庭にあう灯籠・日本人としての誇りを示す石碑はぜひ、日本の石で」という思いで製品を納めています。

石の加工は、機械にたよる部分がほとんどですが、細部の仕上げや、細工などになるとやはり人の手になります。「いいものをつくり続ける」、その思いをこめて今回は、「小叩き(こたたき)」仕上げの、墓前灯籠を展示しました。

小たたき仕上げは、古来より受け継がれてきた石製品の風格を感じます。歳月が経つことで、また別の良さを十分発揮する小たたき仕上げは、日本人の感性にあった格別のものだと確信しております。

工場の方にも、お越しく下さい。きれいな工場で、きれいな墓石・灯籠・石碑を作っています。近くには、「世界の中心で愛を叫ぶ」のロケ地や、20世紀を代表する石の彫刻家イサム・ノグチイサム・ノグチの庭園美術館、四国第八十五番霊場八栗寺などがあります。

墓前灯籠



「彫刻及び石灯籠部門」で「最優秀賞」を受賞しました。高さは6尺2寸(約1.9m)の墓前灯籠で小叩き仕上げです。磨きの仕上げと比較すると2倍以上の人力と熟練した技が必要になります。灯籠の外形の型を石工の技で仕上げ、最終の小叩きも全て石工の技で仕上げていきます。石工の基本を十分に身に付けて、そこから一人前の石工としての技をみがいたもののみが携われる工程です。そのような工程を経て出来あがった灯籠が受賞できたことは会社にとってもこのうえなく喜ばしいことです。



QRコード対応用携帯をお持ちの方はご利用下さい
株式会社 大川石材
〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼2775番地13
電話(087)845-9640 E-mail info@ookawasekizai.com

高松空港から	タクシーでおよそ45分
JR	高松駅から高徳線 普通列車で屋島駅へ15分(特急で10分)屋島駅からタクシーでおよそ10分
高速道路	高松道高松中央ICでおりおよそ9キロ(約25分)